

大学院コンサートシリーズ・名手と共に

「ピアノデュオ ドウオールを迎えて」

田口美優・高城美希

C.ドビュッシー

牧神の午後への前奏曲

田中広輝・隈元沙綾

M.ラヴェル

『ラ・ヴァルス』

井坂美月・田口美優

F.スメタナ

『わが祖国』

(作曲者自身によるピアノ4手編)

モルダウ JB1:112

ドウオール

ラヴェル=グリャズノフ

「ダフニスとクロエ」第2組曲 1.夜明け

樋口歌織・相田実久

P.デュカス

魔法使いの弟子

ドウオール

バーンスタイン=マスト

「ウェストサイド・ストーリー」よりシンフォニックダンス(抜粋)
(マンボ〜チャ・チャ〜クール〜フーガ〜ランブル〜フィナーレ)

見原さやか・船越のどか

S.ラフマニノフ

2台のピアノのための組曲第1番

『幻想的絵画』作品5より

1.舟歌 4.復活祭

2021年12月7日(火)

18時開演(17:45開場)

シルバーマウンテン 1階

△ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

== PROGRAM ==

●ドゥオール

ラヴェル=グリャズノフ / 「ダフニスとクロエ」第2組曲 1.夜明け
Ravel=Gryaznov // "Daphnis et Chloe" Suite No.2 1.Lever du jour

●田口美優 (院1)・高城美希 (院2)

C.ドビュッシー / 牧神の午後への前奏曲
Claude Debussy // Prélude à "L'après-midi d'un faune"

●樋口歌織 (院1)・相田実久 (修了生)

P.デュカス / 魔法使いの弟子
Paul Dukas // L'apprenti sorcier

●田中広輝 (院2)・隈元沙綾 (修了生)

M.ラヴェル / 『ラ・ヴァルス』
Maurice Ravel // La Valse

～ 休憩 ～

●ドゥオール

バーンスタイン=マスト / 「ウェストサイド・ストーリー」よりシンフォニックダンス(抜粋)
(マンボ～チャ・チャ～クール～フーガ～ランブル～フィナーレ)
Bernstein=Musto // from Symphonic Dances
(Mambo～Cha-Cha～Cool～Fugue～Rumble～Finale)

●井坂美月 (院1)・田口美優 (院1)

F.スメタナ / 連作交響詩「わが祖国」(作曲者自身によるピアノ4手編)
モルダウ JB1:112
Friedrich Smetana // Má Vlast Vltava

●見原さやか (院1)・船越のどか (院1)

S.ラフマニノフ / 2台のピアノのための組曲第1番『幻想的絵画』作品5より
1. 舟歌 primo : 見原さやか second : 船越のどか
4. 復活祭 primo : 船越のどか second : 見原さやか
Sergei Rachmaninov // Suite No.1 'Fantasie-tableaux' Op.5
1.Barcarole
4.Easter

■ Program Note

■ C.ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲

この曲はフランスの作曲家、C.ドビュッシー(1862-1918)の出世作であり、1892年から1894にかけて作曲された。1894年に初演された管弦楽版と並行して二台ピアノ版を書いており、どちらも1895年に出版された。フランスの詩人ステファヌ・マラルメの詩『牧神の午後』に触発されて書かれた。牧神はギリシャ神話に登場する半獣神で「パン」とも呼ばれ、獣のような下半身と山羊のような角を持つといわれる。詩の内容は、夏の昼下がり、牧神が昼寝のまどろみの中で官能的な夢にふける、といったものであった。管弦楽版では、牧神の象徴とも言える笛の音を表すフルートが効果的に使われていて、幻想的で夢の中にいるかのような曲想を持つ。

■ P.デュカス／魔法使いの弟子

ポール・デュカス(1865-1935)は、パリに生まれたフランスの作曲家。デュカスは自分の音楽に対して厳しく、納得した出来の曲しか残さない非常に完璧主義な人間であった。そのため現在確認できる作品は、魔法使いの弟子を含め20曲ほど。

この作品は、風刺作家ルキアノスの詩を基に、ドイツの文豪であるゲーテが書いた詩「魔法使いの弟子」を表現した交響詩である。1897年に完成され、デュカス本人の指揮のもと行われた初演では、大成功をおさめた。1940年にはディズニー映画「ファンタジア」に取り上げられ、現代でも広く愛される作品である。

「魔法使いの弟子」あらすじ

年老いた魔法使いは、見習いに水汲みの雑用を任せる。魔法使いがいなくなったのを確認した見習いは、慣れない魔法を使い、ほうきに雑用をさせようとする。見よう見まねで魔法をかけたところ、ほうきはたちまち動きだし、水汲みをこなしていく。魔法にかかったほうきは永遠に水を汲む。見習いはあることに気付く。魔法の解き方が分からないのだ。あたり一面水浸しになっても水汲みをやめないほうきが恐ろしくなった見習いは、ついに斧を振り落としほうきを真っ二つに割ってしまう。静寂が訪れた。ところが、真っ二つになったはずのほうきはさらに分裂をし生き返り、大洪水になってもなお水を汲むのであった。

■ M.ラヴェル／『ラ・ヴァルス』(La Valse)

『ラ・ヴァルス La Valse』は、モーリス・ラヴェル(ラベル)により作曲された管弦楽曲です。作曲者自身によってピアノ2台のためや独奏ピアノのためにも編曲されています。1914年、第一次世界大戦が勃発するとフランスもすぐにこれに参戦、ラヴェルも翌1915年3月にはトラック輸送兵として召集されます。のちにフランスを含む連合国とドイツとの間で休戦協定が結ばれ、その後バレエ・リュスの主宰者でロシアの芸術プロデューサーであるセルゲイ・ディアギレフ(1872-1929)が1917年にバレエ音楽を依頼し、作曲されたのがこのラ・ヴァルスです。パリで初演され、タイトルの「ラ・ヴァルス」とは、フランス語で『ワルツ』、英語では『ザ・ワルツ』と訳されます。『ウィーンのワルツ王』ヨハンシュトラウス2世のオマージュとして、19世紀のオーストリア宮廷を舞台としたウィンナワルツ風の舞踏詩となっています。

■ F.スメタナ／連作交響詩「わが祖国」(作曲者自身によるピアノ4手編) モルダウ JB1:112

連作交響詩「わが祖国」はスメタナの晩年、1874~79年に作曲された。全6曲にはそれぞれチェコの自然や歴史に因んだ標題が付けられ、祖国愛の強かったスメタナの代表作である。曲は初演の街プラハ市に捧げられ、毎年スメタナの命日5月12日に国際的音楽祭「プラハの春」の初日を飾って全曲が演奏される。

モルダウ/原題はチェコ語で「Vltava」であり、美しさと親しみやすさ、憂いをたたえた流麗なメロディーは極めて

有名である。この曲についてスメタナは、「2つの源流が合流して流れ出し、川幅を増しながら、森の狩や婚礼の踊りの傍らを通り、夜になると月の光や妖精の舞いを映し、聖ヨハネの急流を通り、やがてプラハへと至り、ヴィシェブラドを経て、遠くへ去っていく」と解説している。スコアの各場面に情景を示すキャプションが添えられてあり、モルダウの流れに沿った様々な情景や、時間の移り変わりを絵画的に描写した名曲である。

■S.ラフマニノフ／2台のピアノのための組曲第1番『幻想的絵画』作品5より 1.舟歌 4.復活祭

2台のピアノのための組曲第1番『幻想的絵画』作品5はセルゲイ・ラフマニノフのピアノデュオ曲。1893年作曲され、「2台のピアノのための幻想的絵画」とも呼ばれる。

初演は1893年11月30日モスクワにて、ラフマニノフ本人とパーヴェル・パプストのピアノで行われた。曲はチャイコフスキーに献呈されており、チャイコフスキーは初演を聴く約束をしていたが、その5週間前に他界した。

曲は4つの楽章からなり、それぞれの曲にはラフマニノフには珍しくもエピグラフが添えられている。本日は、第1楽章と第4楽章を抜粋して演奏をする。第1楽章は、アレグレット、ト短調、4分の3拍子で、情感豊かな舟歌で、ピアノの繊細な響きと、中低音での甘美な旋律が美しい。第4楽章は、アレグロ・マエストーゾ、ト短調、4分の4拍子で、詩句に見られる鐘の音に貫かれた終曲で、ムソルグスキーの《ボリス・ゴドゥノフ》の戴冠式の様子を彷彿とさせる荘厳な曲調である。

以下に、ラフマニノフ本人画作曲するにおいて、インスピレーションを受けた詩を、掲載する。

第1楽章

「舟歌」(ミハイル・レールモントフ)

おお、涼しいゆうべの波が、
ゴンドラのオールを静かに打つ。
—あの歌がまた！ またギターで鳴る！
—遠くでいまは、憂鬱そしてまた幸せに、
聞こえるのは古い舟歌の響きか、
「ゴンドラは水面を滑り、
時も愛とともに飛び去る、
水はふたたび穏やかになり、
情熱はもはや高まらない」

第4楽章

「復活祭」(アレクセイ・ホミャコフ)

強大な鐘の音が大地を越えて鳴り、
大気のすべては嘆き、おののき、苦しむ。
美音の銀色の雷鳴は、
聖なる勝利の知らせを告げる。

Profile



田口 美優 (院 1)

広島県出身。洗足学園音楽大学ピアノ科、アンサンブル・スタディコース卒業。第一回洗足学園学内コンクール第三位。第 77 回福山音楽コンクール本選ファーストクラス受賞。2018 年、2019 年度特別選抜演奏者認定。これまでにピアノを浅尾晶子、宮久恵、三谷智子の各氏に師事。現在ピアノを江崎昌子氏に師事。



高城 美希 (院 2)

福岡県出身。4 歳よりヤマハ音楽教室で学ぶ。洗足学園音楽大学ピアノコース卒業。2017 年音の夢ピアノコンクール第 1 位、第 36 回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会入賞。ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2018 にて丸の内エリアコンサートに出演。2019 年度ピアノコース特別選抜演奏者に認定。現在ピアノを江崎昌子氏に師事。



樋口 歌織 (院 1)

東京都出身。国立音楽大学卒業。4 歳よりピアノを学んでおり、現在、洗足学園音楽大学大学院 1 年器楽専攻ピアノコース在籍。第 39 回ピティナピアノコンペティション連弾上級部門全国大会入賞。大学 4 年次には、ピアノ専攻 4 年生による演奏会に選抜で出演。これまでにピアノを佐々木朋枝、米持隆之、白水芳枝、泉ひろ子、泉ゆりのの各氏に師事。



相田 実久 (修了生)

栃木県宇都宮市出身。第 17 回全日本アールンピアノコンペティション F 級奨励賞、シューベルト賞を受賞。洗足学園音楽大学ピアノコース、指導者育成クラス卒業。第 23 回万里の長城杯国際音楽コンクール第 3 位。洗足学園音楽大学大学院ピアノコース修了。これまでにピアノを中山育代、梶木良子、松浦健、鳥羽瀬宗一郎、市野あゆみ、室内楽を西山郁子、羽川真介、安永徹、市野あゆみの各氏に師事。フィンガートレーニングを恩田明香氏、ピアノ指導法を木幡律子氏のもとで学ぶ。また青柳晋、浦壁信二、江口玲、小林仁、迫昭義、鈴木弘尚、G.マルタ、L=F.ペレス、J.ヤンドー各氏のマスタークラスを受講。



田中 広輝 (院 2)

洗足学園音楽大学音楽教育コース卒業。

洗足学園音楽大学大学院器楽専攻ピアノコース 2年在籍。

これまでにピアノを浅岡尚子、声楽を君島広昭、各氏に師事。

現在ピアノを梶木良子、トランペットを班目加奈、指揮法を松元宏康、各氏に師事している。

第 26 回ヤングアーティストピアノコンクールファイナル ピアノデュオ部門にて入賞。
SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2021 ピアノ一般の部 全国大会 第 2 位受賞
(1 位なし)。 あさおか音楽教室ピアノ講師。東京都八王子市吹奏楽部外部指導要員。



隈元 沙綾 (修了生)

東京都出身

洗足学園音楽大学ピアノコース卒業

同大学院修了

在学中に浦壁信二、G.ナードル、L.F.ペレス各氏のレッスンを受ける。

室内楽を池上政人氏にジャズピアノを片倉真由子氏に、クラシックピアノを飯野明日香氏に師事。現在はソロと伴奏を始めとした演奏活動の他、幼稚園や音楽教室で指導を行う。



井坂 美月 (院 1)

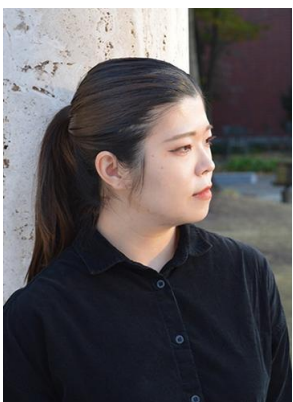
5歳よりピアノを始める。洗足学園音楽大学卒業。ピティナ・ピアノ・コンペティショングランミューズ Y カテゴリー全国大会入選、Pre 特級一次予選優秀賞。第 29 回日本クラシック音楽コンクール大学女子の部第 4 位(1~3 位なし)。2017~2020 年度前田音楽奨励賞受賞。2018~2020 年度特別選抜演奏者認定。これまでに、ピアノを土井陽子、佐藤薫子の各氏に、現在、ピアノを新海未穂、佐々木恵子の各氏に、ソルフェージュを佐々木邦雄氏に師事。



船越 のどか (院 1)

都立総合芸術高等学校音楽科卒業。洗足学園音楽大学卒業後、同大学院に進学。

ピアノを其田富子、井上祐子、川辺千香子、碓井俊樹、梶木良子の各氏に、ソルフェージュを上田真樹氏に師事するとともに、飛騨高山音楽祭他、様々な音楽セミナーにてマスタークラスを受講。ソロだけでなく声楽や器楽の伴奏も行なっている。



見原 さやか (院 1)

東京都出身、8歳からピアノを始める。

都立総合芸術高等学校を卒業後、洗足学園音楽大学音楽学部に入學。今年度、同大学院 1 年に在籍。

現在、ピアノを飯野明日香、山岸真由美、室内楽を新居由佳梨に師事。



～ドゥオール～ 2人が解き放つ 光のハーモニー

これまでの800を超える演奏活動と並行し、雑誌AERAインタビュー、NHK Eテレ「天才てれびくん YOU」出演、音友web「ONTOMO」連載、彩の国さいたま芸術劇場での「ピアノデュオはじめのいっぽ」ワークショップ、YouTube「おうちドゥオール」など、ピアノデュオをより身近なものへと前進するドゥオール。

藤井隆史：東京藝術大学大学院修了。文化庁、DAAD 奨学生としてドイツ・マンハイム音楽大学大学院に学び、国家演奏家課程(ソロ)及びピアノデュオ科最優秀修了。

現在、武蔵野音楽大学講師、洗足学園音楽大学大学院招聘講師。

白水芳枝：東京藝術大学卒業。野村文化財団、DAAD 奨学生としてドイツ・マンハイム音楽大学大学院に学び、国家演奏家課程(ソロ)及びピアノデュオ科最優秀修了。

現在、国立音楽大学講師、洗足学園音楽大学大学院招聘講師。

'04年デュオ結成後、国際的な賞を数多く受賞。以後の活動は聴衆や音楽誌から高い評価を受けている(リリースした5枚のCDはレコード芸術誌特選盤選出、'18レコードアカデミー賞ノミネート)。'18年以降ドイツツアー、シンガポールでのマスタークラス&リサイタル、'21はアメリカ・マイアミ Piano Slam13アーティストとしてプロジェクト参加など海外での活動も展開中。

近年はピアノデュオでの後進の指導にも力を注いでおり、彩の国さいたま芸術劇場共催、カワイ梅田協賛のピアノデュオセミナーや、洗足学園音大、武蔵野音大、相愛、同志社女子大などの講座など、ピアノデュオの道を切り拓く指導者としても益々期待されている。

'21年には8枚目CD「Duo Energy」をリリースし、東京、名古屋、大阪、岡山での記念リサイタルを大好評のうちに終えた。

公式サイト：<http://www.yoshie-takashi.com>

公式ブログ：<http://ameblo.jp/yoshie-takashi/>

ドゥオールオンラインショップ：

<https://duor.buyshop.jp/>

<ドゥオール 今後の演奏会予定>

リサイタル

12.11 土曜日 14:00/18:00

山王オーディウム(大森)

コンサート

12.18 土曜日 19:00

ホテルグランバツハ東京銀座

コンサート

12.24 金曜日 19:15

武蔵野スイングホール

リサイタル(都民芸術フェスティバル)

2022.2.18 金曜日 19:00

東京文化会館小ホール

☆詳細はドウオールサイトまで。